

がんサポートチーム

廣常秀人

がんサポートチームは、医師、看護師、薬剤師、MSW、心理士、栄養士など多職種から構成され、急性期病院における緩和ケアの診療支援を行っている。緩和ケアチームとして発足して、8年が経過し、がん患者と家族の多面的な支援を行っている。今年度は、新たに専従精神腫瘍医を迎えておりさらなる支援体制の強化をした。

【2012年度研究発表業績】

A-1

廣常秀人（監修）廣常秀人ら（著）：「救命救急センターにおける自殺未遂者支援 Q&A 集～入院初期から始まるソーシャルワーク～」、大阪府出版、2013年3月

A-2

和田知未：第8章 ニコチン依存、第10章 がんとセクシュアリティ 「MD アンダーソン サイコソーシャル・オンコロジー」 大中俊宏・岸本寛史 監訳、p103-118, 127-140、メディカル・サイエンス・インターナショナル、東京、2013年2月

A-3

杉本 達哉, 山田 妃沙子, 織田 裕行, 板東 宏樹, 青柳 宇以, 高瀬 勝教, 木下 利彦, 中谷 壽男, 廣常 秀人, 和田 照平, 寿良 昌子, 原 るみ子：【自殺対策】 自殺未遂者ケアの現状 大阪地域での取り組み 「大阪府自殺未遂者実態調査事業」について. 救急医学, 36(7) : p P759-762、2012年7月

A-5

廣常秀人（研究分担者）、梅本愛子、吉田哲彦、疇地道代、山路國弘、安尾利彦、大谷ありさ、仲倉高広、森田眞子、藤本恵里、宮本哲雄、鍛冶まどか、西川歩美（研究協力者）：「HIV陽性者の心理的負担、および精神医学的介入の必要性とネットワーク形成に関する研究平成24年度報告書」（HIV感染症およびその合併症の課題を克服する班（白坂琢磨、主任研究者） p75-78、2013年3月

B-2

Ueda J, Ishii K, Oike M, Kajihara K, Michikawa A, Enami A, Shikata A, Miyamoto H, Watatsu C, Satomi E : Aromatherapy as symptom relief for cancer patients. 7th Conference on Research in Palliative Care, Trondheim, Norway, 2012年6月

Aono N, Satomi E, Ueda J, Oike M, Matsuyama K, Azechi M, Yamaji K, Kusuki S, Hirotsune H, Tsujinaka T :The efficacy of lidocaine for pain with abdominal distention. 7th Conference on Research in Palliative Care, Trondheim, Norway, 2012年6月

B-3

里見絵理子、楠木重範、廣常秀人：総合病院緩和ケアチームが小児緩和医療に果たす役割。第17回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012年6月

廣常秀人、疇地道代、山路國弘：精神科医療の現状と展望 無床総合病院精神科の現状と展望<ユニット型精神科病床の提案>（シンポジウム18「精神科医療の現状と展望」）第66回国立病院総合医学会、兵庫、2012年11月

廣常秀人、疇地道代：救急医療における他職種連携；精神科医の立場から（シンポジウム6「救急医療における他職種連携」）。第66回国立病院総合医学会、兵庫、2012年11月

廣常秀人：シンポジウム3「精神疾患と痛み」。第1回エビデンスに基づく統合医療研究会、大阪、2012年7月

B-4

尾池真理、井出恭子、上田純子、齋藤明音、道川綾加、里見絵理子、青野奈々、高居千幸、渡辺真弓：A急性期病院におけるがん患者が緩和医療目的に転院された患者の実態。第17回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012年6月

青野奈々、里見絵理子、上田純子、尾池真理、松山和代、廣常秀人、辻仲利政：終末期における化学療法についての検討。第17回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012年6月

里見絵理子、青野奈々、上田純子、尾池真理、松山和代、道川綾加、齋藤明音、井出恭子、山路和弘、廣常秀人、辻仲利政：超高齢者緩和ケアについて～急性期病院緩和ケアチーム介入超高齢者例をふりかえって～。第17回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012年6月

濱卓至、池永昌之、川島正裕、梶山徹、里見絵理子、山崎圭一、松岡弘道、柏木雄次郎：早期からの緩和ケアの実践に対する障壁となっているものは何か？～アンケート調査結果からの検討～。第17回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012年6月

齋藤明音、道川綾加、上田純子、尾池真理、青野奈々、里見絵理子、廣常秀人、福井好枝、渡津千代子：看護実践に困難を感じる終末期がん患者の対応を経験した看護師の心理的影響。第17回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012年6月

里見絵理子【座長】：ポスター26 がん疼痛。第17回日本緩和医療学会学術大会、神戸、2012年6月

四方文子、江並亜希子、上田純子：A病院におけるがん看護教育ステップⅡ研修の評価。近畿地区国立病院第54回看護学会、2012年10月、大阪

斎藤明音、上田純子、里見絵理子：認知機能の低下から意思決定に困難を生じた乳がん患者への支援～残される子供、実母への支援を中心に～。第 36 回死の臨床研究会年次総会 京都、2012 年 11 月

上田純子、尾池真理、井出恭子、江並亜希子、齋藤明音、四方文子、道川綾加：「がん患者カウンセリング料」算定後の患者サポートシステムの構築に向けて。第 66 回国立病院総合医学会、神戸、2012 年 11 月

井出恭子、上田純子、尾池真理、斎藤明音、松川佐和子、渡津千代子、里見絵理子、青野奈々：A 病棟における Palliative Care Conference での認定看護師の役割の検討-病棟看護師の認識実態調査から-。第 66 回国立病院総合医学会、神戸、2012 年 11 月

大谷弥里、大池教子、岡田彩、鳥山明子、風間敬一、加藤研、森本竹紗、豊田久子、和田万葉、瀧秀樹：教育入院中の 2 型糖尿病患者における EPA 強化の有効性、第 66 回国立病院総合医学会、神戸、2012 年 11 月

森田眞子、仲倉高広、安尾利彦、鍛冶まどか、大谷ありさ、藤本恵里、宮本哲雄、白阪琢磨、廣常秀人：大阪医療センターにおける臨床心理室活用に向けた取り組み。第 66 回国立病院総合医学会、兵庫、2012 年 11 月

太田裕子、嶋あずさ、廣常秀人、疇地道代、山路國弘、定光大海、中尾隆代、岡本学、黒田美和、伊澤麻未、平島園子、中川麻由、渡辺真弓、高居千幸、多部祐一、森口浩、岡井健二：救命救急センターへ搬送された自殺企図者に対する大阪府自殺未遂者実態調査事業平成 23 年度からの報告。第 66 回国立病院総合医学会、兵庫、2012 年 11 月

安尾利彦、治川知子、富成伸次郎、廣常秀人、白阪琢磨：意欲低下、自殺念慮、対人恐怖を主訴としたある HIV 陽性者との心理療法過程。第 26 回日本エイズ学会学術集会総会・総会、神奈川、2012 年 11 月

大谷弥里、大池教子、岡田彩、鳥山明子、風間敬一、加藤研、森本竹紗、豊田久子、和田万葉、瀧秀樹：2 型糖尿病患者における EPA 強化の有効性、第 9 回国立病院栄養研究学会、岡山、2013 年 1 月

田中景子、槇原克也、宮城和代、廣畑和弘、山内一恭、小森勝也：プレガバリンの副作用発現に係わる背景因子の解析。日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2013 2013 年 3 月、東京

B-5

和田知未、丸倉直美、和田信：不穏な患者さんをみること。第 9 回埼玉サイコオンコロジー研究会、大宮、2012 年 7 月

B-8

廣常秀人：コミュニケーション、コミュニケーショングループワーク。大阪医療センター緩和ケア研修会、大阪、2012年5月

里見絵理子：ロールプレイのスキル。日本緩和医療学会主催第21回緩和ケア基本教育のための指導者研修会 2012年7月 船橋

里見絵理子：緩和ケアおよび精神腫瘍学の基本教育に関する指導者研修会。日本緩和医療学会主催第22回緩和ケア基本教育のための指導者研修会 2012年9月 大阪

里見絵理子：骨転移による疼痛の緩和～鎮痛薬の使い方～。第1回骨転移治療研究会、大阪、2012年9月

里見絵理子：消化器症状。松下記念病院緩和ケア研修会、大阪、2012年9月

里見絵理子：がん疼痛の評価と治療。松下記念病院緩和ケア研修会 2012年9月 大阪

里見絵理子：がん疼痛の評価と治療。八尾市民病院緩和ケア研修会、2012年10月、大阪

里見絵理子：急性期病院における緩和ケア病棟との連携。大阪緩和ケア地域連携カンファレンス 2012年11月 大阪

里見絵理子：緩和医療における消化器症状のマネジメント～嘔気・嘔吐、腹部膨満～。協和会千里中央病院定期講演会、大阪、2012年12月

里見絵理子：地域連携と治療・療養の場。大阪市立大学病院緩和ケア研修会 2013年1月 大阪

里見絵理子：双方向性講義の教育・実践。国立がん研究センター主催平成24年度緩和ケア基本教育のための都道府県指導者研修会 2012年11月 船橋

里見絵理子：教育の実践。日本緩和医療学会主催第23回緩和ケア基本教育のための指導者研修会 2013年2月 大阪

里見絵理子：院内の患者・家族向けに緩和ケアを効果的に普及するための方策とは？ 大阪府緩和ケアチーム研修会 2013年3月 大阪

上田純子：がん性疼痛緩和における非薬物的アプローチの重要性。平成24年度大阪府看護協会がん性疼痛看護認定看護師教育課程講義。2012年7月、大阪

上田純子：がん性疼痛を有する患者への非薬物的アプローチと方法～注意転換・電法・経皮的電

気刺激法・体位の工夫と選択～。平成24年度大阪府看護協会がん性疼痛看護認定看護師教育課程講義。2012年7月、大阪

和田知未：がん患者における心の問題—サイコオンコロジーの実践。八尾市立病院緩和ケア研修会、大阪、2013年2月

和田知未：コミュニケーション、コミュニケーショングループワーク。獨協大学越谷病院緩和ケア研修会、埼玉、2012年7月

和田知未：コミュニケーション、コミュニケーショングループワーク。埼玉医科大学国際医療センター緩和ケア研修会、埼玉、2012年8月

森田眞子：服薬支援～カウンセラーの視点から、および服薬支援ロールプレイ。HIV感染症薬物療法薬剤師養成研修、大阪、2012年5月

森田眞子：自己理解・他者理解。看護師2ヶ月研修、大阪、2012年6月

森田眞子：援助的コミュニケーション。国立循環器病研究センター薬剤部コミュニケーションスキル研修会、大阪、2012年8～10月

森田眞子：HIV/AIDS陽性者の心理的支援。HIV/AIDS看護師研修会、大阪、2012年10月

森田眞子：グループワークファシリテーター。エイズ予防財団平成24年度HIV検査相談研修会、大阪、2012年10月

森田眞子：職場のメンタルヘルス。神戸医療センターメンタルヘルス研修会、兵庫、2012年11月

森田眞子：がん患者への心理的支援。国立病院機構チーム医療研修会、大阪、2012年2月

森田眞子：グループワークファシリテーター。新入職者メンタルヘルス研修会、大阪、2012年2月

廣常秀人：講演「力動的診断面接その12」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第14回大阪精神療法勉強会、大阪、2012年4月

廣常秀人：講演「力動的診断面接その13」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第15回大阪精神療法勉強会、大阪、2012年6月

廣常秀人：講演「力動的診断面接その14」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第16回大阪精神療法勉強会、大阪、2012年8月

廣常秀人：講演「力動的診断面接その 15」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第 17 回大阪精神療法勉強会、大阪、2012 年 11 月

廣常秀人：講演「簡単にできる夢の扱い」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第 18 回大阪精神療法勉強会、大阪、2012 年 12 月

本郷由美子、倉戸ヨシヤ、廣常秀人：大阪府被害者支援シンポジウム、第 1 部「座談会」、大阪、2012 年 10 月

廣常秀人：救命救急センターで出会う自殺未遂者、NPO 法人国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター講演会、大阪、2012 年 11 月

廣常秀人：思春期のリストカット～その時、私たちにできること～、大阪市主催第 1 回「思春期関連問題」についての市民講座「思春期の危機～その時、その行為をどう受け止めるか」、大阪、2012 年 12 月

廣常秀人：災害や犯罪が襲うとき、大阪市平成 24 年度精神保健関係職員現任研修、大阪、2013 年 1 月

廣常秀人：講演「力動的診断面接その 16」、グループスーパーヴァイザー「症例検討会」、第 19 回大阪精神療法勉強会、大阪、2013 年 1 月

廣常秀人：HIV 感染症患者の精神科診療の現状と課題、第 5 回 HIV 感染症と精神医療に関する研修会、大阪、2013 年 1 月

廣常秀人：HIV 感染症患者の精神科診療の現状と課題、第 6 回 HIV 感染症と精神医療に関する研修会、広島、2013 年 2 月

廣常秀人：解決困難な相談と相談員のケア、大阪府人権協会 2012 年度おおさか相談フォーラム、大阪、2013 年 3 月